調査名 時短アンケート, 2023

寄託者(寄託時) 日本建設産業職員労働組合協議会

本集計表を引用する際には出典を明記して下さい。最新の寄託者名は概要にてご確認下さい。

2023年時短アンケート設問

設問 1

非公開

設問 2 属性

(1) 性別 ※任意 ①男性 ②女性

(2) 年齢 年齢を記入してください

(3) 配偶者の有無 ①無 ②有

(4) 単身赴任の有無 ①している ②していない

(5) 時短勤務の有無 ①している ②していない
※介護、育児等

設問 3 勤務地の所在地

1 北海道	2 青森	3 岩手	4 秋田	5 山形	6 宮城
7 福島	8 群馬	9 栃木	10 茨城	11 東京	12 神奈川
13 千葉	14 埼玉	15 愛知	16 三重	17 岐阜	18 静岡
19 長野	20 山梨	21 新潟	22 富山	23 石川	24 福井
25 大阪	26 兵庫	27 京都	28 奈良	29 滋賀	30 和歌山
31 岡山	32 広島	33 山口	34 島根	35 鳥取	36 香川
37 愛媛	38 徳島	39 高知	40 福岡	41 佐賀	42 熊本
43 長崎	44 大分	45 宮崎	46 鹿児島	47 沖縄	48 海外
- (国名を記入)

設問 4 職種

①内勤建築系技術職	②内勤土木系技術職
③外勤建築系技術職	④外勤土木系技術職
⑤技術研究職	⑥内勤事務職
⑦外勤事務職(出張所、作業所勤務)	⑧営業職(開発も含む)
⑨内勤その他	⑩外勤その他

(職種で、①②と答えた方にお聞きします)

内勤技術系としての職種の細目(主な業務を1つ選択してください)

①設計	②見積・積算	③設備
④技術提案	⑤現場技術支援	⑥工務等管理
⑦その他( )		

設問5 職務（役職）

- ①部課長、営業所長・出張所長・作業所長（いずれも部課長待遇を含む）クラス
- ②係長、作業所副所長、主任等の次席クラス
- ③課員、係員等、特に役職のない方（現在OAオペレーター等をされている場合でも、資格上総合職・一般職に区分されている方を含みます）
- ④オペレーター等技能職の方
- ⑤その他

設問6 時間外手当

- ①支給対象者
- ②支給非対象者

【労働時間・休日】

設問7 あなたの土曜日・日曜日・祝日の休日取得状況

（あてはまるものを①～④から選び、日ごとに答えてください）

- ①当日休んだ
- ②当日出勤したが、振休・代休を取得した
- ③当日出勤したが、振休・代休を取得していない
- ④海外勤務のため法律上休みではない

(a) 11月 3日(文化の日)	(b) 11月 4日(第1土曜日)
(c) 11月 5日(第1日曜日)	(d) 11月11日(第2土曜日)
(e) 11月12日(第2日曜日)	(f) 11月18日(第3土曜日)
(g) 11月19日(第3日曜日)	(h) 11月23日(勤労感謝の日)
(i) 11月25日(第4土曜日)	(j) 11月26日(第4日曜日)

設問8 2022年12月～2023年11月の1年間の休日日数について教えてください

取得日数を記入してください

				全て休んだ場合	
① 土曜	日	① 土曜	52 日		
② 日曜	日	② 日曜	52 日		
③ 祝日	日	③ 祝日	13 日		
④ 有給	日				
⑤ 特別休暇、現場異動休暇等				日	

【所定外労働】

設問9 2023年11月の1ヶ月間の実際の残業(所定外労働)時間についてお答えください

(a) (b)とも0時間の場合は0を、1時間未満は四捨五入して、整数で記入してください
(0～29分の場合は0)

(所定外労働の手当支給非対象者も記入してください)

(a) 2023年11月の1ヶ月間で、実際に残業した時間

(休日出勤し、振休・代休を取得できなかった場合はその日の勤務時間を算入してください)

※1日あたりではなく1ヶ月間全体での残業時間です

(b) そのうち平日の残業時間

設問10 設問9 (a)の1ヶ月間の残業(所定外労働)時間の内、会社に報告したのは何時間ですか

11月分の勤務報告での時間数を参照のうえ記入してください

(0～29分の場合は0) (1時間未満は四捨五入して、整数で記入してください)

(所定外労働の手当支給非対象者も記入してください)

設問11 (a) 日常的に実際の残業時間と会社への報告した時間に差がありますか

- ①差がある   ②差がない

(b) (設問11(a)で①と答えた方にお聞きします)

実際の残業時間と会社への報告した時間に差がある場合の主な理由を2つ以内で選んでください
2023年11月の1ヵ月間の状況に限らず、あなたの状況を回答してください

- ①会社や上司の指示(36協定遵守のため)
②会社や上司の指示(会社や部門の時短目標達成のため)
③会社や上司の指示(工事原価や部門予算のため)
④会社や上司の指示(①～③以外の理由、理由はわからない)
⑤36協定時間を超えてしまうので付度/自粛
⑥会社や部門の時短目標達成のため付度/自粛
⑦工事原価や部門予算のため付度/自粛
⑧特に指示はないが職場の雰囲気や付度/自粛
⑨残業の理由を聞かれるのがいや
⑩自分の能力不足で残業していると思うから
⑪自分の評価が下がるから
⑫産業医面談が嫌だから
⑬その他(内容を記入してください)

設問12 (a) 勤務報告にあたって、1ヶ月当たりの所定外労働(残業)時間の申告時間に上限があればその時間をお答えください

(上限時間が無い場合は「n」を記入)。この上限時間は会社や上司の指示の有無を問わず、あなたが意識している数字があればその数字を記入してください
(1時間未満は四捨五入して、整数で記入してください)
(所定外労働の手当支給非対象者も記入してください)

(b) 設問12(a)で回答した時間が上限となっている理由をお答えください

- ①会社や部署の目標とする値だから
②36協定時間
③会社や上司が設定している
④自分で設定している
⑤上限はない
⑥特になし・なんとなく

設問13 あなたの直近1年間(2022年12月～2023年11月)の勤務報告において、会社や上司の差し戻しや修正により所定外労働(残業)時間が不適切に自分の申告より少なくされことはありますか

(申告ミス等は除く)

- ①あった   ②なかった

設問14 会社は乖離申告可能な環境を是正できるように努力していると思いますか

- ①努力していると思う   ②努力していると思わない

設問15 あなたは会社の時短推進の取り組みについて満足していますか

- ①満足している   ②満足していない

設問16 あなたの会社は時短推進の取り組みについて、どのように取り組んでいますか

- ①会社が主体となって具体的な時短推進の取り組みを行っている
- ②部署・個人に丸投げで具体的な指示がない

設問17 あなたが残業する場合の主な理由を2つ以内で選んでください

2023年11月の1ヶ月間に限らず、あなたの状況を回答してください(残業する人のみ)

- ①決算や竣工前など時期により一時的に業務が増える
- ②発注者むけ書類等の業務が多い
- ③本来、発注者側で行うべき資料作成等の業務が多い
- ④本来、設計者・監理者側で行うべき資料作成等の業務が多い
- ⑤社内むけ書類等の業務が多い
- ⑥突発的なトラブル・災害などの対応(台風対策含む)
- ⑦残業手当をあてにした生活設計になっている
- ⑧仕事の性格上、早出・残業する必要がある
- ⑨工程が厳しい
- ⑩職務を十分果たしたい
- ⑪外注業者・協力業者に管理能力がない
- ⑫工程上必要はないが業者が残業・休出をしたがる
- ⑬配置の人員が少ない
- ⑭仕事量が多い・仕事が自分に偏っている
- ⑮その他 (内容を記入してください)

設問18 あなたは自分の残業時間について、どのように考えていますか、
主なものを2つ以内で選んでください

2023年11月の1ヶ月間の状況に限らず、あなたの考えを回答してください

- ①どのような理由があっても、早急な改善が必要
- ②自己の能力不足、または自己の能力の向上のため、納得している
- ③建設業の社会的使命や、与えられた仕事に責任を感じているため、納得している
- ④建設業の社会的使命や、与えられた仕事に責任を感じているが、苦痛である
- ⑤生活を犠牲にしているため苦痛である
- ⑥生活を犠牲にしているが、対価(残業手当)等もあり納得している
- ⑦自己評価を上げるため仕方がない
- ⑧その他 (内容を記入して下さい)

設問19 あなたは自身の時短推進について、どのように考えていますか

- ①時短ができるよう努力している
- ②業務量を考えると時短推進とは名ばかりだと思う
- ③会社が主体となって時短推進を行っているので、一緒に取り組んでいる
- ④その他 (内容を記入して下さい)

設問20 会社からの残業時間削減指示で、あなたの仕事や生活にどのような支障があるか、
2つ以内で選んでください

- ①残業手当等、賃金が減少して生活に余裕がなくなった
- ②会社や上司からの仕事の状況を考慮しない時短の指示がある
- ③勤務時間を申告するうえでの自主規制の圧力がある
- ④自分の技術力が低下するのではないかと危惧している
- ⑤部下や若手の時短のために自分が残業している
- ⑥残業をしても会社に申告しない・隠している(持ち帰り残業含む)
- ⑦品質や安全がおろそかになった気がする
- ⑧時短の強要で精神的にまいっている
- ⑨残業は少なくなったが支障は特にない
- ⑩時短に向けた動きはない(会社からの残業時間削減の指示はない)
- ⑫その他(内容を記入して下さい)

設問21 建設産業が労働時間を短縮させるには何が必要だと思いますか、
主なものを2つ以内で選んでください

- ①会社による時短推進の取り組み
- ②協力会社の能力向上
- ③発注者・設計者ですべき契約外業務の廃止
- ④受注者による工期ダンピングの防止
- ⑤発注者による適正工期の設定
- ⑥発注時期・竣工時期の平準化
- ⑦発注者・設計者の管理能力・技術力の向上
- ⑧発注者・設計者の意思決定の迅速化
- ⑨受注競争の適正化による採算性の向上
- ⑩技能労働者の処遇改善
- ⑪労務・資機材の円滑な確保
- ⑫法律等による社会的規制
- ⑬配置技術者要件の緩和
- ⑭その他(内容を記入して下さい)

【健康・ストレス】

設問22 あなたはご自身の健康に対して不安を感じていますか

- ①不安がある(身体的に)
- ②不安がある(精神的に)
- ③不安がある(身体的、精神的ともに)
- ④不安はない

設問23 (設問22で①②③と答えた方にお聞きします)

健康に不安を感じる理由は何ですか、1つ選んでください

- ①長時間労働のため
- ②職場・作業環境が悪いため
- ③勤務形態が変則的だから
- ④職業病をわずらう可能性のある業務についている
- ⑤役職や昇格での責任の増大によるストレス
- ⑥職場の人間関係によるストレス
- ⑦受動喫煙への不安
- ⑧生活習慣病への不安
- ⑨その他(内容を記入して下さい)

【充実感】

- 設問24 (全員にお聞きします) あなたの今の仕事の充実度として最も当てはまるものを選んでください
- ①非常に充実している
  - ②まあ充実している
  - ③あまり充実していない
  - ④まったく充実していない

- 設問25 設問24で選んだ仕事の充実度を考えるにあたって特に重視した尺度を2つ以内で選んでください
- ①仕事そのものの魅力・やりがい
  - ②労働時間・休日取得
  - ③働き方の多様性・柔軟性
  - ④賃金
  - ⑤会社からの評価・期待
  - ⑥同僚・顧客など(会社や上司以外)からの評価・期待
  - ⑦自身の成長
  - ⑧人間関係
  - ⑨勤務地・エリア
  - ⑩会社の方針・風土
  - ⑪会社の規模・ブランド
  - ⑫その他 ( )

【多様な働き方】

- 設問26 (a) あなたの会社にはフレックスタイム勤務とスライド勤務(時差出勤)の制度はありますか
- ①どちらの制度もある
  - ②フレックスタイム勤務制度だけある
  - ③スライド勤務制度だけある
  - ④どちらの制度もない

(b) (設問26(a)で①②③と答えた方にお聞きします)

あなたは日常的にフレックスタイム勤務やスライド勤務(時差出勤)を利用していますか
または、利用していたことはありますか

- ①両方利用している、していた
- ②フレックスタイム勤務を利用している、していた
- ③スライド勤務を利用している、していた
- ④両方利用していない、したことがない

(c) (設問26(b)で①②③と答えた方にお聞きします)

制度を利用する理由として、最もあてはまるものを1つ選んでください

- ①育児・介護のため
- ②残業時間削減のため
- ③資格取得のため
- ④通勤ラッシュを避けるため
- ⑤とくに理由はない・なんとなく
- ⑥その他( )

(d) (設問26(a)で②③④と答えた方にお聞きします)

あなたはフレックスタイム勤務やスライド勤務を制度化してほしいですか

- ①フレックスタイム勤務とスライド勤務を制度化してほしい
- ②フレックスタイム勤務を制度化してほしい
- ③スライド勤務を制度化してほしい
- ④とくに希望しない

【魅力・転職】

設問27 (全員にお聞きします) あなたの会社の魅力度について、以下の各項目の魅力の度合いとして最も当てはまるものを選んでください

(項目)	(魅力度)
①仕事の裁量	①魅力がある (評価5)
②会社の将来性・安定性	②まあ魅力がある (評価4)
③賃金水準	③普通、どちらともいえない (評価3)
④労働時間・休日	④あまり魅力がない (評価2)
⑤教育制度・育成	⑤魅力がない (評価1)
⑥人事評価制度	
⑦福利厚生	
⑧人間関係	

設問28 今のあなたの働く意識として最も近いものを1つ選んでください

- ①今の会社で定年まで働きたい
- ②特に転職を考えておらず、何ものなければ今の会社で定年まで働く
- ③今の会社で定年まで働くことは考えていない
- ④今すぐにも会社を辞めたい

設問29 あなたが設問28の選択肢を選択した理由はなんですか
最も近いものを2つ以内で選んでください

- ①仕事の裁量
- ②業務内容
- ③会社の将来性・安定性
- ④賃金水準
- ⑤労働時間・休日
- ⑥教育制度・育成
- ⑦人事評価
- ⑧福利厚生
- ⑨人間関係
- ⑩キャリアアップ

設問30 あなたは現在の建設業に魅力を感じていますか

- ①大いに魅力を感じる
- ②まあ魅力を感じる
- ③あまり魅力を感じない
- ④まったく魅力を感じない

設問31 労働時間や職場環境、生活についてなどなんでも結構です、
今感じていることがあればご記入ください

【作業所関係】

※これ以降の設問は、作業所勤務の方がお答えください

(現在異動中の方は、直近の作業所についてお答えください)

(複数の作業所兼務の方は、主な勤務先の状況についてお答えください)

設問32 作業所の形態を選んでください

- ①単独   ②JVスポンサー   ③JVサブ
④下請け   ⑤自社工事・その他

設問33 作業所の職員(派遣を含む)は何人ですか(JVの場合は全員)

(対象者がいない場合は0を記入して下さい)

- (a)技術系職員   (b)事務系職員

設問34 作業所の工期をお答えください

- (a)着工年月   (b)竣工年月

設問35 発注者

- ①国土交通省(旧建設省系)
②国土交通省(旧運輸省系)
③農林水産省
④①②③以外の中央官庁
⑤JRTT
⑥⑤以外の独立行政法人
⑦都道府県
⑧政令指定都市
⑨その他地方公共団体
⑩民間公益企業(道路)
⑪民間公益企業(鉄道)
⑫民間公益企業(電力、ガス、通信等)
⑬民間ディベロッパー
⑭民間企業(製造業)
⑮民間企業(非製造業)
⑯外資系企業
⑰その他民間企業
⑱再開発組合
⑲SPC
⑳個人

設問36 作業所工事分類を選んでください

- ①建築工事
②土木工事
③建築(鉄道線閉)工事
④土木(鉄道線閉)工事
⑤軌道工事
⑥洋上風力
⑦建築リニューアル工事
⑧土木リニューアル工事
⑨その他

設問37 あなたの作業所の休日設定を選んでください

(a) 受注時	(b) 現在の工程表上
①4週8閉所 (完全週休2日制)	②4週7閉所
③4週6閉所	④4週5閉所
⑤4週4閉所	⑥4週3閉所
⑦4週2閉所	⑧4週1閉所
⑨4週0閉所	⑩その他

設問38 あなたの勤務する作業所の完全閉所状況

(完全閉所…宿・日直以外の職員が出勤した場合は閉所とみなさない)

a～jの各休日における完全閉所状況について

①閉所した	②閉所していない
(a) 11月 3日(文化の日)	(b) 11月 4日(第1土曜日)
(c) 11月 5日(第1日曜日)	(d) 11月11日(第2土曜日)
(e) 11月12日(第2日曜日)	(f) 11月18日(第3土曜日)
(g) 11月19日(第3日曜日)	(h) 11月23日(勤労感謝の日)
(i) 11月25日(第4土曜日)	(j) 11月26日(第4日曜日)
- 11月の平日に閉所した日数 ( )日

設問39 土曜閉所を増やしていく上で問題となるのは何ですか、特に問題となるものを2つ以内で選んでください

- ①短工期受注による工程の厳しさ
- ②発注者の対応が遅いことによる工程の遅れ
- ③設計・監理者の対応が遅いことによる工程の遅れ
- ④労務不足による工程の遅れ
- ⑤資機材不足による工程の遅れ
- ⑥緊急事態で工程調整ができなくなる
- ⑦土曜閉所による経費の増大
- ⑧技能労働者が休みたがらない(作業員日給制の問題を含む)
- ⑨発注者・ユーザーへの対応
- ⑩発注者の意識
- ⑪気候・時季上の制約(降雪や農業期対応等)
- ⑫施工上の制約(施設休業日にしか作業できない等)
- ⑬許認可上、土・日(夜間)作業になること
- ⑭会社の閉所に対する意識の低さ
- ⑮土曜閉所するの必要を感じない
- ⑯その他(内容を記入してください)

設問40 (2022年12月～2023年11月までに作業所を異動された方にお聞きします)

作業所異動時に土日祝日を含まず何日休みましたか(振替休日、代休、有給休暇、特別休暇等いずれでもよい)取得日数(0日の場合は0)を記入してください。

設問41 (全員にお聞きします) 異動時休暇が取得しにくい理由は何ですか、2つ以内で選んでください

- ①直前での異動命令
- ②仕事があるので異動時休暇がとれない
- ③次の現場に技術者として登録されるから
- ④みんなに迷惑がかかると思う
- ⑤職場の雰囲気取得しづらい
- ⑥上司からの評価が下がるから
- ⑦異動時休暇の制度がない・あるか知らない
- ⑧異動時休暇を取得するの必要を感じない
- ⑨異動時休暇は取得しやすい
- ⑩その他(内容を記入してください)

序章 調査実施の概要

1. 調査の目的

本調査は、日建協組合員の労働時間や生活実態、及び意識面の実態を詳細に把握し、その結果を日建協および加盟組合の時短活動にフィードバックすることによって、総合的労働条件の向上に役立てていくことを目的に実施しました。

2. 調査の時期

調査票の配付：2023年11月

調査票の回収：2024年1月

3. 調査の方法

調査方法はWEBアンケートと電子データの配信によるデータ入力式アンケートの併用で実施しました。

4. 調査対象者と調査票の回収状況

今回のアンケート調査は、組合員数約38,000人中の10,000人の組合員を対象として実施しました。対象者抽出方法は、各加盟組合組合員数、各組合における年齢、性別、職種等の構成にあわせて配付する方法をとりました。

その結果、19,265人からの有効回答を得ました。

加盟組合別回収状況は次頁のとおりです。

※ 各設問項目において、回答が不明の場合は集計から除いています。